

## 製品安全データシート (MSDS)

### 1. 製品及び会社情報

製品名：浸け置き用洗剤ファースト除菌ウォッシュ

会社名：ディバーシー株式会社

住所：神奈川県横浜市中区山下町2番地 山下町SSKビル/〒231-0023

担当部門：カスタマーテクニカルセンター

電話番号：045-270-6140/FAX番号：045-640-2216

緊急連絡先：お客様ご相談窓口/電話番号：045-640-2280

製品説明：食品工業用粉末アルカリ性洗剤

### 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分

：炭酸塩

界面活性剤/ポリオキシエチレンアルキルエーテル

エチレンジアミン四酢酸塩

酸素系漂白剤

[備考] ポリオキシエチレンアルキルエーテル (C=12-15) :

化学物質管理促進法 第一種指定化学物質 第307号 15.7%

### 3. 危険有害性の要約

危険有害性

人の健康に対する有害な影響：

- ・皮膚に触れた場合、強い刺激作用があり、処置が遅れると皮膚が侵され熱傷にいたる。低濃度溶液でも水分の蒸発により同様な症状を起こす。
- ・目に入った場合、激しい痛みを感じ、処置が遅れるとその程度によって結膜や角膜が侵され視力低下あるいは失明にいたる。
- ・飲み込んだ場合、口腔・食道・胃部の灼熱感がある。濃い液を多量に飲み込んだ場合、処置が遅れると生命にかかわる。
- ・粉塵やミストを吸入した場合、鼻・喉・気管支・肺を刺激し、処置が遅れるとしわがれ声、咽喉部の灼熱感、激しい咳、肺浮腫を生ずる。

環境への影響：流出した場合は、水生生物に対して影響を及ぼす。

物理的及び化学的危険性：

- ・不燃性であるが、酸性物質と反応し発熱する。

分類の名称 (分類基準は日本方式)：分類基準に該当しない。

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合：粉塵やミストを吸い込んだときは、直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、鼻をかんだり、よくうがいをする。何らかの異状を感じたときは、直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合：直ちに多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、直ちに脱ぎ皮膚を多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。何らかの異状を感じたときは直ちに医師の診断を受ける。
- 目に入った場合：直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合：直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせようとしない。意識のないときは口から何も与えない。
- いずれの場合も、医師への受診時には、製品または製品安全データシートを持参する。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤：水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。
- 消火方法：本製品は不燃性物質であるが、周辺火災の場合はすみやかに安全な場所に移す。移動ができない場合は、風上より容器周囲に散水して冷却する。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護衣、保護マスクなどの保護具を着用する。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項：雨水溝、河川、海上などに排出されないように注意する。
- 除去方法：ほうきなどを用いてできる限り空容器などに回収する。回収した跡、または回収できないものは、多量の水にて十分に洗い流す。洗浄水は酸（希硫酸など）で中和してから排出する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：・作業時は必ず保護メガネおよびゴム手袋、ゴム長靴を着用する。  
・使用時は洗浄剤が飛散しないように丁寧に取り扱う。  
・飛散した粉塵を吸い込んだり、目に入らないように注意する。  
・使用後は必ず水道水で十分に水洗いする。  
・用途以外には絶対に使用しない。  
・他の薬剤、洗浄剤などとは絶対に混ぜない。  
・誤食等事故の恐れがあるので、食品用の容器を含む他の容器に移し替えたり小分けしない。  
・使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。  
・移動・保管時は容器の口をしっかりと閉める。  
・倒したり、こぼしたりしないように注意する。  
・排水は中和処理する。
- 保管：・直射日光・高温多湿な場所を避けて密閉して保管する。  
・子供の手の届かないところに保管する。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策：取り扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。
- 管理濃度：設定されていない。
- 許容濃度：設定されていない。
- 保護具：手の保護具；ゴム手袋  
目の保護具；保護メガネ  
皮膚及び身体の保護具；保護衣、ゴム長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 形状・色; 白色～淡黄色粉末
pH	: 10.4～11.4 (1%, 25°C)
溶媒に対する溶解性	: 水に溶解する
引火点	: なし (不燃物)
ヒ素	: 0.067mg/L 以下 (食品・添加物規格基準 厚生省告示第370号洗浄剤成分規格: 製品150倍希釈液)
重金属	: 1.0mg/L 以下 (食品・添加物規格基準 厚生省告示第370号洗浄剤成分規格: 製品150倍希釈液)

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱い条件 (屋内、常温) においては安定である。
反応性	: 酸性物質と反応し中和熱を発生する。
避けるべき条件	: 酸性物質との接触、40°C以上の高温下での保管、直射日光下、開放状態
避けるべき材料	: アルミニウム、すず、亜鉛、銅・銅合金などの金属、漆器
危険有害な分解生成物	: 特になし

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
(参考) 各成分のデータ	: 炭酸塩 ; 経口 (ラット) LD50 4,090mg/kg 界面活性剤/ポリオキシエチレンアルキルエーテル; データなし エチレンジアミン四酢酸塩; 経口 (ラット) LD50 2,700mg/kg 酸素系漂白剤 ; 経口 (マウス) LD 50 2.0～3.0g/kg
局所効果	: 皮膚に触れた場合; 強い刺激作用がある。 目に入った場合 ; 激しい痛みを感じ、結膜や角膜が侵される。 飲み込んだ場合 ; 口腔・食道・胃部の灼熱感がある。 吸入した場合 ; 粉塵やミストを吸入した場合、鼻・喉・気管支・肺を刺激する。
感作性	: データなし
慢性毒性・長期毒性	: データなし

12. 環境影響情報

移動性	: データなし
残留性・分解性	: COD <sub>Mn</sub> 177ppm (0.1%水溶液; JIS K0102 1998)
生体蓄積性	: データなし
生態毒性	: アルカリ性であるため、流出した場合は水生生物に対して影響を及ぼす。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 少量の場合は、水で希釈してから、酸 (希硫酸など) で中和して排出する。 多量の場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理する。
汚染容器・包装	: 使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。

14. 輸送上の注意

国内法規制：特になし

輸送の特定の安全対策及び条件：

- ・輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認する。
- ・荷役作業は丁寧に行い、容器を破損しないように取り扱う。
- ・転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・直射日光下での輸送は避ける。
- ・水濡れを避ける。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	: 該当しない
化学物質管理促進法 (PRTR法)	: 該当する
	・ 第一種指定化学物質第307号
	ポリオキシエチレンアルキルエーテル (C=12-15) 15.7%
労働安全衛生法/通知対象物	: 該当しない
表示物質	: 該当しない
有機則	: 該当しない
特化則	: 該当しない
消防法	: 該当しない
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 該当しない
海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律	: 該当しない
水質汚濁防止法/水素イオン濃度	: 該当する
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 該当する/特別管理産業廃棄物

16. その他の情報

問い合わせ先：ディパーシー株式会社

カスタマーテクニカルセンター

電話番号：045-270-6140/FAX番号：045-640-2216

改訂の記録：作成；2004年12月31日

改訂；2008年01月11日： 2. 組成、成分情報（備考 ホリキエソノアルキルエーテル 配合量）

12. 環境影響情報（残留性・分解性 COD値）

2008年07月01日： 1. 製品及び会社情報（社名、郵便番号の変更）

16. その他の情報（問合せ先の社名変更）

2010年04月01日： 1. 製品及び会社情報（社名、郵便番号の変更）

16. その他の情報（問合せ先の社名変更）

- 引用文献：
- ・製品安全データシートの作成指針（改訂版）〔(社)日本化学工業協会（平成13年10月）〕
  - ・JIS Z 7250:2000/化学物質等安全データシート（MSDS）
  - ・毒物劇物取締全書〔じほう〕
  - ・14501の化学商品〔化学工業日報社〕
  - ・化学品別適用法規総覧〔化学工業日報社〕
  - ・危険物船舶運送及び貯蔵規則（十一訂版）〔海文堂〕
  - ・公害防止の技術と法規（水質編）〔(社)産業公害防止協会〕
  - ・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善促進の進め方〔(財)日本規格協会〕

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学品には未知の危険・有害性があり得るため、ご使用の際には用途・用法に適した安全対策を実施の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

以上